

現代中国の国家
～社会関係

2016. 4. 11 資料 No. 1

2016 年度前期 講義全体計画

講座名：「現代中国の国家～社会関係」

日時：毎週月曜日・全 12 回・第 2 時限

講師：及川淳子（桜美林大学）

I. 講義概要

現在の中国では国家と社会の関係が変化しています。中国社会は中国共産党と政府によって一元的に管理されていますが、人々の意識や行動も急速に変化しています。本講座では、「市民社会」という普遍的な視点で、中国に対する理解を深めます。

II. 講義計画 〈全体の簡単な項目立て、要旨など〉

| 講座日程 | 講義のテーマ・概要 |
|-------------------|--|
| 第 1 回 4 月 11 日 | <p>概論 1. 現代中国の政治と社会</p> <p>国家と社会の関係について考察するために、まずは基本的な知識として、中国の政治・社会制度について概説します。中国共産党による事実上の一党支配体制は、具体的にどのようなものでしょうか。庶民の目線で、中国の政治と社会について考えます。</p> |
| 第 2 回 4 月 18 日 | <p>概論 2. 中国のメディア事情</p> <p>憲法第 35 条には言論の自由が明記されていますが、マス・メディアは党と政府から厳しく管理されています。一方、インターネットが急速に普及し、社会問題などをめぐる言論空間も変化しています。概論第 2 回では、ネットを中心にメディア事情を概観します。</p> |
| 第 3 回 4 月 25 日 | <p>事例研究 1. 「維權運動」</p> <p>近年、市民としての権利意識や納税者意識が高まり、様々な社会的課題について、自らの権利を擁護する「維權運動」（権利擁護の運動）が増加しています。強制立ち退き、食品の安全問題、健康被害など、具体的な事例を通して庶民の意識と行動の変化を考察します。</p> |
| 第 4 回 5 月 9 日 | <p>事例研究 2. 四川大地震と北京オリンピック</p> <p>2008 年 5 月 12 日、四川省で大規模な地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。一方、同年 8 月には北京五輪が開催されました。二つの出来事に共通するのは、市民のボランティア意識の高まりと行動の変化です。社会変化の転換点となった 2008 年に注目します。</p> |
| 第 5 回 5 月 16 日 | <p>事例研究 3. 高速鉄道事故</p> <p>2011 年 7 月 23 日、浙江省温州市で高速鉄道の衝突事故が発生しました。事故の衝撃だけでなく、事故発生直後の地元政府の対応やメディアの報道規制も大きく注目されました。市民の安全に直結する重大事故を通して、社会の危機管理や情報公開について考えます。</p> |

| | |
|---------------|---|
| 第6回 5月23日 | 事例研究4. 反日デモ 2012年9月、日本政府による尖閣諸島の国有化を発端に、中国の各地で反日デモが勃発しました。日本のメディアでは暴力的な破壊行為が報道されましたが、実態はどのような状況だったでしょうか。2005年4月の反日デモと比較し、中国人の対日観を考察します。 |
| 第7回 5月30日 | 事例研究5. 歴史教育と歴史認識 1990年代以降、中国は愛国主義教育を強化しています。いわゆる「反日教育」ではないかという批判もありますが、実際に中国の歴史教科書には日本に関連してどのような記述があるのでしょうか。「抗日ドラマ」なども取り上げ、歴史認識の問題について考えます。 |
| 第8回 6月6日 | 事例研究6. 文化大革命50周年 今年は文化大革命（1966～1976年）の開始から50年という節目の年にあたります。1981年の歴史決議で「文革は誤りだった」と規定されましたが、関連する報道や研究は現在でも規制されています。文革はどのような影響をもたらし、回顧されているのでしょうか。 |
| 第9回 6月13日 | 事例研究7. 天安門事件 1989年の天安門事件は、中国のみならず世界に衝撃を与えました。学生や市民による民主化運動は、当局の武力弾圧によって幕を閉じ、以来、民主化は極めて敏感な問題になっています。天安門事件の意義と課題をふまえ、今後の民主化について展望します。 |
| 第10回 6月20日 | 事例研究8. 劉曉波と「08憲章」 2010年、ノーベル平和賞を受賞した作家の劉曉波は、天安門事件の際に活躍した人物ですが、国家政権転覆扇動罪で獄中にいます。劉曉波が中心になって発表した民主化を求める文書「08憲章」を取り上げ、市民社会と民主化の問題について考察します。 |
| 第11回 6月27日 | 事例研究9. 「民生問題」 環境問題、食品の安全問題、薬害問題など、庶民の暮らしに直結する深刻な問題が急増しています。社会的な問題提起やその解決に向けて、市民の発言と行動が重要な役割を担うようになりました。NGOなど民間の取り組みを中心に、「民生問題」を取り上げます。 |
| 第12回 7月4日 | 事例研究10. 新たな日中関係に向けて（総論） 政治体制や社会制度が違っても、経済成長の減速や少子高齢化等、日本と中国には共通する社会的課題が数多くあります。日本の市民運動の経験や教訓を共有するなどの民間交流にも可能性があります。「市民社会」という視点で、新たな日中関係を探求しましょう。 |

* 本講座では事例研究として最新事情を取り上げるため、中国および日中関係に関する重大な事件等が発生した場合は、講義内容を変更する可能性があります。